



厚生労働省北海道労働局発表
平成28年3月17日

【担当】

北海道労働局労働基準部安全課
課長 山谷 幸雄
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

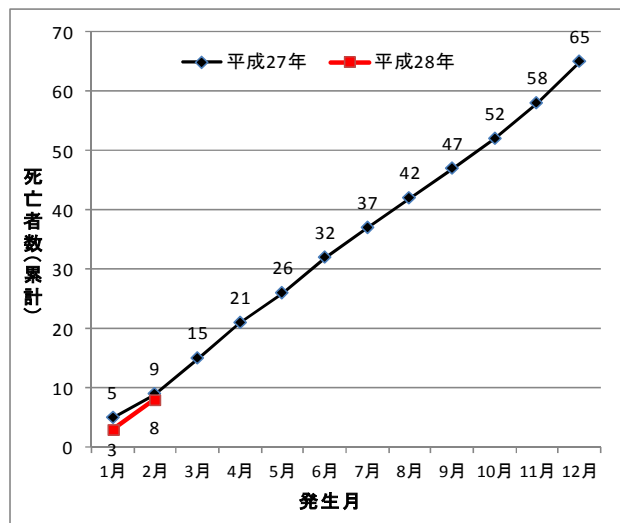
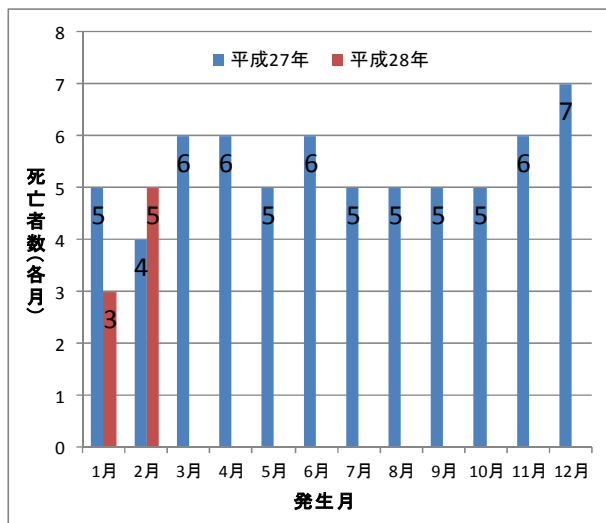
【平成28年】

死亡労働災害は速報値で前年比1人減少
死傷労働災害は前年同期比9.1%減少

— 平成28年の北海道内の労働災害発生状況（平成28年2月末現在速報値） —

1 労働災害による死亡者数（1月～2月）

平成28年の道内の労働災害による死亡者数は、平成28年2月末現在で8人と、前年と比べ1人の減少となっています。



（1）業種別の状況【資料3、4】

業種別に見ると、「建設業」が5人（全体の62.5%、前年比3人増）、「製造業」が1人（全体の12.5%、前年比1人増）、「陸上貨物運送事業」が1人（全体の12.5%、前年比1人増）、「農業・畜産業」が1人（全体の12.5%、前年比1人増）となっています。

（2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が3人（全体の37.5%）、「崩壊・倒壊」が2人（全体の25.0%）、「交通事故」が2人（全体の25.0%）、「有害物との接触」が1人（全体の12.5%）となっています。

2 労働災害による死傷者数（1月～2月）

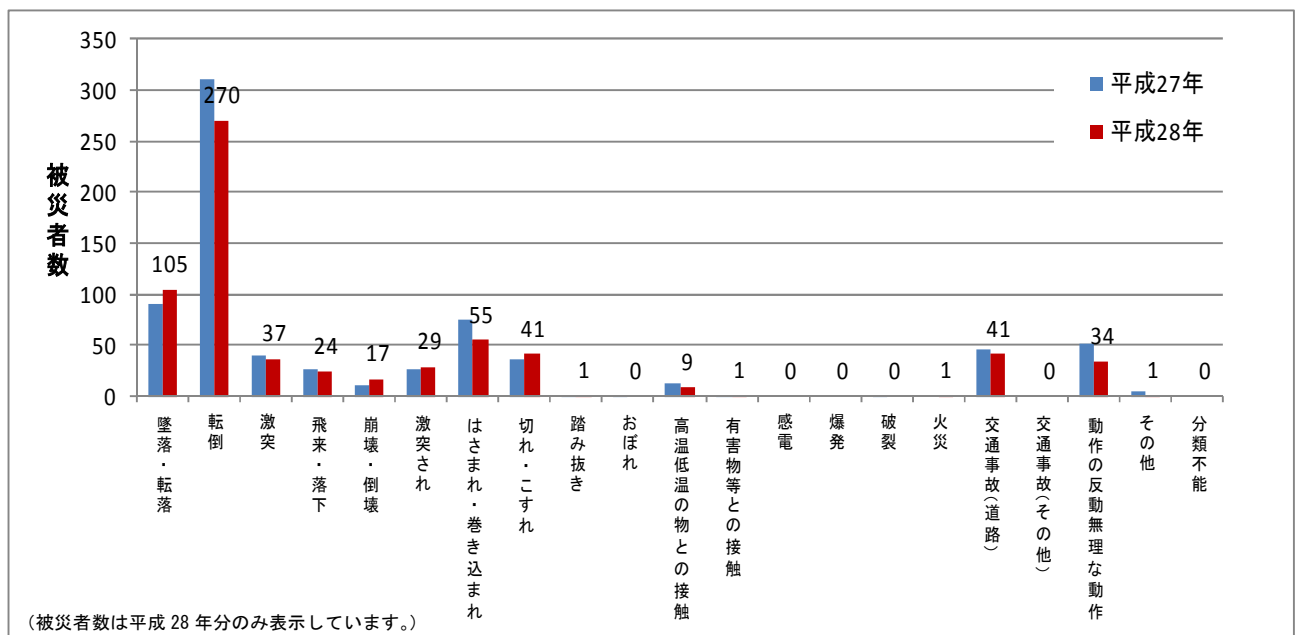
平成28年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成28年2月末現在で666人と、前年同期比67人減（9.1%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が126人（全体の18.9%、前年同期比5人減）と最も多く、次いで「商業」が106人（全体の15.9%、前年同期比10人減）、「建設業」が84人（全体の12.6%、前年同期比8人増）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が79人（全体の11.9%、前年同期比17人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料6】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が270人（全体の40.5%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が105人（全体の15.8%）、「はさまれ、巻き込まれ」が55人（全体の8.3%）、「切れ、こすれ」が41人（全体の6.2%）、「交通事故（道路）」が41人（全体の6.2%）となっています。



3 北海道労働局の対応

2月に入って屋根の雪降ろし作業で3人の方が労働災害で死亡していることから、北海道労働局では、安全な屋根の雪降ろし作業の徹底について、平成28年2月15日に、関係団体を通じて緊急要請を行いました。3月に入り雪解けも進んでいますので、今後は屋根からの落雪による災害、雪崩、河川の増水による災害等、融雪に関する災害防止対策の徹底が必要です。

また、引き続き「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」（取組期間：平成27年12月1日～平成28年3月31日）の取組みの啓発を行うとともに、本年1月よりスタートした「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しています。

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成28年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成28年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 5 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 6 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）

（リーフレット）

「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」

「STOP！転倒災害プロジェクト」